

抱樸館を支える会 会報

23号



2017年4月1日 発行:抱樸館を支える会

えにしの会(抱樸館福岡ボランティア部) 懇親会開催(3月11日)

えにしの会は、「抱樸館福岡ボランティア部」の愛称で、卒業生81名を中心に支えてくださる方々や抱樸館スタッフなど108名の会です。

昨年2月に続いて、2回目の懇親会となった今回は、卒業生17名、ボランティア活動を支えてくださっている皆さん10名、公民館の方2名、抱樸館福岡スタッフ7名の36名が会場の津屋本町公民館に集まりました。



写真などで、えにしの会の活動紹介【手仕事、パステル画、生け花、お抹茶、カフェさんぽみち、料理練習会、支える会会報の発送作業、NPO法人抱樸の活動への参加、健康相談会、傾聴ボランティア、園芸部など】がありました。

そして、お茶やお菓子を楽しみながら日頃考えていること、えにしの会でやりたいことなどを話し合いました。初めて会う人もあって、最初はおずおずと、段々打ち解けて話は盛り上がります。



最後にみんなで写真を撮りました。

えにしの会の活動は、自立した生活を送れるようになった卒業生が、抱樸館退居後も気負いなく来館できて、人と人との関係の継続や出会いとなり、自分の得意なことや好きなことが誰かを喜ばせることに生きがいを見いだせるものです。それぞれの活動も楽しいけれど、こうして懇親会で全員が集まるのもいいね、また来年！と言い合って終了しました。



小学校の学習会について 三堀館長に聞く

今年の2月に、福岡市東区の二つの小学校から人権等の学習会の講師依頼がありました。

これについて抱樸館福岡の三堀明人館長にお話をお聞きしました。

——これまでも学習会に呼ばれることがあったのですか。

「抱樸館福岡が校区にある多々良小学校から毎年学習会の講師依頼をいただいています。今年は初めて和白小学校からも講師依頼がありました。いずれも6年生が対象です。」



——学習会を通じて子どもたちに何を感じて欲しいと思っていますか。

「ホームレスにどうしてなるのか。決して本人が望んでいるわけではないこと、ホームレスとは家族や人との関係が途切れて起こることです。隣の人のことを思いやること、助け合って生きていくことが大切であるということを感じて欲しいですね。実際のホームレスの例を話し、またイス取りゲームなどを通じてそのことを理解してもらおうと考えています。」

——学習会を終わってみてどうでしたか。

「学習会が終わって、講師をしたスタッフと反省会をしたのですが、どちらの小学校の子どももホームレスを見かけたことがあるという子どもが多かったです。この学習会で、どうしてホームレスになるのか分かってもらえたと思います。また、イスとりゲームで誰もがホームレスになりうること、ホームレスから脱するには助け合って生きることが大切だと気づいてもらえたと思います。」

——ありがとうございます。

学習会の様子は次のページ(P2~3)で報告しています。

和白小学校の学習に、抱樸館福岡が参加しました（2月8日）

三堀明人館長、竹尾春菜相談員、上野麻帆相談員が講師で参加

抱樸館福岡と同じ福岡市東区にある和白小学校で、6年生3クラスの生徒約110名対象の学習会が行なわれました。

先生が簡単に抱樸館福岡のことを紹介したうえで、学習会は始まります。

三堀館長「抱樸館福岡ではホームレスや生活困窮者が自立していくことを手助けしています。ところで皆さんホームレスを見かけたことがありますか。ある人は挙手してください。」

20～30人くらいの生徒が手を挙げました。結構いるんですね。

——ホームレスと言えばどんなことを思い浮かべますか。

生徒からは「缶ひろい」「苦しそう」などの答えが出ます。

——そうですね缶を一杯自転車に積んで走ったりしますね。そして生活が苦しそうですね。

ではこの公園のベンチの2枚の写真をみてください。何が違いますか。

生徒「分かれた方は、ホームレスの人が寝れないようになっています。」（他の生徒もハッとしているようです）

——その通りです。さて、ホームレスという言葉ですが、家のことをハウスと言いますよね。であればハウスレスも家がないということですね。この二つの言葉の違いが分かりますか？

生徒「ハウスは建物のこと、ホームは家族や家庭のことだと思います。」

——よくわかっていますね。説明することがなくなってしまいます。（笑）

次に竹尾さんが実際に自立のお手伝いをした入居者の話をしました。

佐賀県出身のAさんは心優しい人で、抱樸館福岡に入ったときは51歳だった。最初はお父さんの会社で働いていたがお父さんが亡くなり、福岡で働いたこともあったが、お母さんもなくなり、仕事にも恵まれず佐賀で一人暮らしになって借金もできた。福岡に行けば何とかかなると思って福岡に出てきたが仕事が見つからずお金もなくなり、ホームレスになった。雨の日は公園のトイレで寝て、水だけを飲んで過ごしていたが毎日不安であった。通りがかりの人の紹介で抱樸館に入れた。多くの入居者とも友達になり、お兄さんとも出会うことが出来た。Aさんは知的障がいがあるため障害者支援のサービスを受けながら抱樸館近くのアパートを借りて生活している。

Aさんはどうしてホームレスになったのでしょうか。

上野さんがイス取りゲームをします。

各クラスから6～7人を選んでもらい、20人くらいで、それ以外の生徒が見守る中で行ないます。イスは15個から、次は更に4つ外して、と順に少なくして最後は4個のイスとなり、段々熱中してきます。

そして再度全員で15個のイス取りから始めますが、途中で「今度は1組の人だけ円の3歩外側を回ってください」ということで3分の1くらいの人が円の外側を回ることになります。

負けた生徒の感想です。

・じゃんけんで負けた。・譲った。・押された。・イスがなかった。・先にとられた。・（人の）上にすわった。・奪われた。

勝った人に聞きます。

・すぐに座ったから。

「このイス取りゲームは、仕事探しの体験です。必ず座れない人が出てきます。座った人が勝ちで、座れなかった人は負けですね。仕事の数が少ないと竹尾さんの話に出てきたAさんのように仕事に就けない人が出てきます。1組の人だけ円の外側を歩いてもらったのは、高齢、障がい、けが、病気などの場合は最初から不利になるということを経験してもらうためです。抱樸館福岡の入居者は6割は50歳以上で病気や障害を持っている人も多く、本人の努力だけではどうしても仕事に就けないことがあるのです。イス取りゲームではイスの数を増やす、あるいは2つのイスに3人で座るなどの工夫があるかもしれませんが、すわれない人が悪いのではなく助け合って解決できることもあると思います。」

再び三堀館長の話です。

「さてベンチの話です。長ベンチだともっと座れますよね。公園のベンチの違いにも無関心だと気づきません。隣の人にも関心を持って接する、心配りするということはとても大切なことですね。」

生徒の代表からお礼の挨拶がありました。

「私は抱樸館のことを今日まで知りませんでした。今日のお話で良くわかりました。また、関心を持って接する大切さも学びました。ありがとうございました。」

（感想文より）ほくはこの抱樸館の学習で、ホームレスとハウスレスのちがいを知りました。イスとりゲームをし、イスをゆずってあげることで公園のベンチのようにみんなが使えるような社会にすることを学びました。自分が大人になってもこのような社会にするために努力していきたいと思いました。



多々良小学校で学習会が開催される（2月16日）

抱樸館福岡の瀬崎篤弘主任、竹尾春菜相談員が講師で

抱樸館福岡が校区にある多々良小学校では、毎年6年生対象の人権学習会が開催されています。今年も3クラス約110名が講堂に集まり学習会を行いました。

今日は二つの団体が講師になっています。まず抱樸館福岡からです。



瀬崎主任「今日は、抱樸館福岡のこと、ホームレスのこと、差別のことについて話をしようと思います。抱樸館福岡のことを知っている人？」

3人くらいが手を挙げる。

——ホームレスを見かけたことがある人？

3～4割くらいの生徒の手が上がります。

——抱樸館福岡はホームレスや生活に困った人、家がない人などを受け入れてもう一度地域で生活できるようにしています。皆さんホームレスってどんな印象を持っていますか。

生徒「歩道橋の上に居る」「近くの橋の下にいる」「公園にいて食べられるものは何でも食べる」

——ホームレスの中には路上で亡くなる方もおられます。たまに「なまけもの」とも言われます。

でもホームレスの人は好きで生活しているわけではありません。

次に竹尾さんが実際に自立のお手伝いをした入居者の話をしました。

佐賀県出身のAさんは心優しい人で、抱樸館福岡に入ったときは51歳だった。最初はお父さんの会社で働いていたがお父さんが亡くなり、福岡で働いたこともあったが、お母さんもなくなり、仕事にも恵まれず佐賀で一人暮らしになって借金もできた。福岡に行けば何とかかなると思って福岡に出てきたが仕事が見つからずお金もなくなり、ホームレスになった。雨の日は公園のトイレで寝て、水だけを飲んで過ごしていたが毎日不安であった。通りがかりの人の紹介で抱樸館に入れた。多くの入居者とも友達になり、お兄さんとも出会うことが出来た。Aさんは知的障がいがあるため障害者支援のサービスを受けながら抱樸館近くのアパートを借りて生活している。

——Aさんはどうしてホームレスになったのでしょうか。不運が重なったところはあったと思います。そして知的障害もありました。でも決して好きでホームレスになったのではないですね。

ここでイス取りゲームをします。

3つのクラスそれぞれでまず、イスを3つ外してスタートです。次は10個外します。そして更に5個外して、「女子は3歩外の円を回ってください」という特別ルールを設けました。

負けた生徒の感想です。

・先を越された。・圧力に押された。・早さに負けてしまった。

勝った人に聞きます。

・頑張って座った。・(外を回った女子)くやしい。おかしいと思う。

——イス取りゲームのイスは仕事です。Aさんががんばってイスに座ると今度はBさんが座れなくなります。座れなかった人は頑張らなかったからでしょうか。最後に女子が不利になったですね。ちゃんと力があるのに差別されるようなことがあります。ここで工夫してみんなで座ってみましょう。

生徒は2人掛け、3人掛けをみんながして何とか座れました。



——何とかなるものですね。助けあって変えてみる

ことが必要ですね。ホームレスが好きでやっているのではないということが分かってもらえたと思います。

——ホームレスとハウスの違いが分かりますか。ホームには家庭という意味があります。ホームレスには家がないということ家庭がないということ故郷がないことなどの意味があります。助けてくれる人がいないと自分の将来もどうでもよくなります。また人は誰かを助けてあげるということも生きる上で励みになります。人と人との関係が大切です。抱樸館福岡では人との関係を作ることが大切であるということで入居者に接しています。

(後半は子どもさんを飲酒運転でなくされた山本美也子さんのお話しでした。)

生徒の代表からお礼の挨拶がありました。

「人との関係を大切にすること、また生命の大切さを学びました。ありがとうございました。」

(感想文より) 今日の話や前までは、ホームレスの生活を支える、改めて築いてくれる場所はない、あったらいいなと思っていました。そのような所があると知っておどろきました。ホームレスはなりたいたいからなったわけではなく、人(家族など)がいなくなったり、仕事がなくなったからなってしまう人がほとんどだということが分かりました。

抱樸館福岡の卒業生の退居時アンケートより

Aさん（60代の男性、2016年10月退居）

抱樸館福岡での生活はいかがでしたか？

この様な施設の利用は初めての事で、右も左もわからず
正直最初は戸惑いました。しかし個室が与えられ、3度の
食事までちゃんと取り、体調を崩すこともなく生活が出来た事に
感謝しています。又清掃等やる事がある、やる事があるという事に
自暴自棄になる事もなく生活出来た事にも感謝しています。
ありがとうございます。

新しい生活に向けての抱負・抱樸館へのメッセージなど

年齢を考えるとむづかしい部分があるのも事実ですが、楽しい事に
体的には丈夫に出来ている事をありがたく思い、自分に出る
事を早く見つけ有意義な日々が過ごせる様にと思っています。

入居者にとっては担当していただく職員の方にほとんどの事を任せる事が
多く、大変な職務だと思いますが、入居している者が救われるのも事実です。

抱樸館福岡では、退居時に“新しい生活を始めるみなさまへ”「ア
ンケート」をお願いし、「抱樸館福岡での生活はどうだったか」と「新
しい生活に向けての抱負など」をお聞きしています。この1年の間
に退居した人の「アンケート」をご紹介します。

Bさん（50代の男性、2016年2月退居）

抱樸館福岡での生活はいかがでしたか？

今までいろんなことがありましたが
なにも事故なく自分でも頑張っ
きたと思います。
私にとっかわ いい思いでになりました。
心から感謝しています。
ありがとうございました。

新しい生活に向けての抱負・抱樸館へのメッセージなど

今まで抱樸館での生活を送ってきま
したが自分のことでせいいっぱいでした。
これから先一人ぐらしがはじまりますが
真面目に生活を送っていきたいと思います。
抱樸館での生活又わこれから先のこと
ありますがかくじけずに頑張りたいと思います。

Cさん（50代の男性、2016年12月退居）

抱樸館福岡での生活はいかがでしたか？

朝、昼、夕食をきちんとした時間で食われて良かったです。また、
夏は涼しく、冬は暖かく、お風呂にも毎日はいって良かったです。
しかし、毎日の掃除は少しづらかったです。

新しい生活に向けての抱負・抱樸館へのメッセージなど

仕事と依存症(ギャンブル)の治療に頑張ります。

遠竹相談員ならびに職員のみな様、半年間お世話に
なりました。自立に向けて頑張ります。

Dさん（50代の男性、2016年2月退居）

抱樸館福岡での生活はいかがでしたか？

7ヶ月半の生活でしたがお世話になりました。一番重要だったのが、療養費帳を取得できたのが自分の中では一番だと思います。内面的な事なのでなかなか理解してもらえないと思いますし…。F.R.Cの訓練させてもらったのも大きかったです。自分も含めやはり路上の人間は意欲を無くしていると思うのでその点が大切なのではないかと？若い人は特にF.R.Cの訓練に参加させたほうが良いのでは？

新しい生活に向けての抱負・抱樸館へのメッセージなど

抱樸館の職員の方々には本当にお世話かけました。たぶん私自身の性格等把握されたのではないでしょうが。常に全力的ないと気がすまないというので、これが良いのか悪いのかは分かりませんが。しかし確実に前に進んでいるとは思っています。今、行っている事業所も次へのステップにすぎないと思いますし。今の状態が続くよう頑張っていきたいです。有難うございました。

Fさん（70代の男性、2016年8月退居）

抱樸館福岡での生活はいかがでしたか？

私が抱樸館福岡にお世話になりまして、十ヶ月になりました。今日まで規則正しい生活を送る事が出来ました。それに血圧が高かったのですが、きちんとした食事で大分血圧が下がりました。これからアパートに入ってから、ニニでの生活を忘れる事なく暮らして行きます。

Eさん（30代の男性、2017年1月退居）

抱樸館福岡での生活はいかがでしたか？

第1に抱樸館に入れたおかげで、自分をもう1度見つめなおせ、人生これからだと勇気を頂いた気持ちが強いです。言葉で上手く伝えられないほど本当に本当にお世話になりました。いざここを出るとなるとあんなにだけ出たかったのにさみしいです。

新しい生活に向けての抱負・抱樸館へのメッセージなど

今後も病気と付き合っていく生活スタイルにはなってしまいますが、次は巡回福岡さんによく相談して、何事もあきらめないで引き続き自分の問題事を将来のために片付けて行きたいと思います。抱樸館に入れた事が今は心強さに変わりました。館長、きかさわさん、職員みなさん、ありがとうございました。

新しい生活に向けての抱負・抱樸館へのメッセージなど

抱樸館にいる間は、残念ながら、就職先は見つかりませんでした。アパートに移ってから、就職活動をやるつもりです。体が元気な時は少しでも働こうと思っています。

「ホームレス自立支援法は、ホームレス支援の羅針盤です。」 奥田知志さんに聞く(3月15日)

「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法(以下:ホームレス自立支援法)」は2002年8月に10年間の時限立法として施行されました。その後5年延長され、2017年8月までの期限となっています。

ホームレス自立支援法の延長についてNPO法人ホームレス支援全国ネットワーク理事長の奥田知志さんにお聞きしました。奥田さんはNPO法人抱樸の理事長で、社会福祉法人グリーンコープの副理事長でもあります。

——まず、ホームレスが置かれている状況について教えてください。

「路上に生きるホームレスは、生きるための条件、衣食住、それから医療がないという過酷な状態です。住まいがないと仕事探しやアパート入居、あるいは年金の手続きなどもできないので、自立したくても自立できません。ホームレスは障がいのある人も多いのですがほとんどが障がい者手帳を持っていない状態で、結果福祉制度を利用できていない人が多いです。多重債務を抱えている人も少なくありません。それから、幼い頃から貧困や低学歴、虐待等、『貧困の連鎖』という問題もあります。さらに、ホームレスは、社会的に孤立しています。身内との関係が疎遠で、相談相手もなく、支援につながらなかった人々です。社会的に孤立していると、生きる意欲を失い、自殺のリスクが高まります。」



——どのような支援が行われてきたのですか。

「一言でいえば『伴走型支援』です。ホームレスの方が自分から相談に来ることはほとんどありませんので、支援者は出かけて支援することになります。ホームレスが心を開く関係になるために、支援者は長期にわたって通い続け、相談や説得を続けながら信頼を築く必要があります。だから、支援者はホームレスとの関係では、家族のような役割を果たすことがあります。身寄りのないホームレスが多く、家主、病院や施設、就労先企業等が引き受けに難色を示すケースがあるため、支援者が保証人になることもあります。路上からの脱却にとどまらず、再ホームレス化を防ぐための継続的な支援、看取りまでの支援が求められます。最も困難な人々を対象とする最も困難な支援がホームレス支援であるといえます。」

——ホームレス自立支援法が持つ意味について教えてください。

「ホームレスは様々な問題に直面しているので、網羅的で包括的な支援が必要です。2002年にホームレス自立支援法は、衆参両院で全会派一致を得て公布・施行されました。ホームレス自立支援法の特徴は、この問題に取り組むことを『国の責務』であると明記したことです。さらに、ホームレス対策の理念を示すとともに、実態把握とアクションプログラム策定を国と自治体に義務づけている点にあります。こうした趣旨にもとづいて、路上の巡回相談や住居移行後のアフターケア等のホームレス総合相談推進事業、自立支援センター事業、緊急一時宿泊事業(シェルター事業)、能力活用推進事業、NPO等民間支援団体が行う生活困窮者支援事業などのホームレス対策事業が実施されました。ホームレス自立支援法によって、国や自治体が様々なかたちで民間団体と協働してホームレス問題の解決にあたることができるようになり、全国各地においてホームレスに対する就労や居住、医療、福祉の支援が官民協働で進められるようになりました。」

——ホームレス自立支援法が施行され、どんな効果がありましたか。

「当初は国の年間予算は20~30億円、リーマンショック後の2009年度からかなり増え、2012年には115億円となりました。こうしたホームレス対策



事業が行なわれた結果、ホームレス数は着実に減少し、2003年の25,296人から2016年には6,235人と4分の1に減りました。そして、路上巡回の総合相談について、取り組みをする自治体や相談件数が増加傾向にあります。シェルター(一時避難所)や自立支援センターについては、緊急的な宿泊施設の効果とともに、広くホームレスとなるおそれのある人も対象になってきており、また、自立支援センター退所後のアフターケアによって、再ホームレス化の防止に結び付いていることも評価されています。東京都の自立支援センターにおける就労自立実績は49%となっています。また別の全国の調査でも就労自立が55%となっています。」

——NPO抱樸も北九州市で自立支援センターを運営されていますね。

「2004年から小倉北区で自立支援センターを運営しており、これまでに入所したホームレスは1186人、退所者は1160人です。就労自立は58%、そして自立率、いわゆる“路上脱出率”は90%近くになっています。この自立率は全国的にも高く、皆さんから評価をいただいています。自立支援センターを運営する前からアパートなどを借り上げて進めていた自立支援住宅の取り組みがあったからできたことだと思っています。また行政と一緒に自立支援の取り組みをすることによって北九州でのホームレス支援の取り組みも相当に進んだと思っています。」

——自立支援センターなどでは相当な費用が使われているようですが、効果はあるのでしょうか。

「そのようなご意見があることは知っています。ある政令都市の自立支援センターの2013



年度の数字で『費用対効果』を計算してみました。この自立支援センターの運営費は年間9234万円です。効果という意味では、就労した人48人が支払った社会保険料・所得税・住民税の年額という直接的な財政効果があります。これが約1307万円です。そして就労することにより生活保護費抑制の効果が大きいです。生活保護の一部を支給されている人もいますので、そのことを勘案しても、生活保護費の支給が少なくなった金額は1億1953万円です。財政効果は合計1億3260万円ということになりますので、差し引き4026万円の効果があったということになります。費用はセンター運営だけではありませんが、効果は大きいということができます。」

——ホームレス自立支援法延長の必要性について聞かせてください。生活困窮者自立支援法では、ホームレス自立支援法の領域をカバーできないのですか。

「ホームレス自立支援法は、ホームレス対策について国の責任や方向性を定めており、実態の全国調査とそれを踏まえた実行計画を定めています。生活困窮者自立支援法はホームレス自立支援法があることを前提として作られており、ホームレスの衣食住や就労支援が自治体の任意事業となっています。これまで全国で様々な制度を総合的に活用し進められてきたホームレス対策事業を、現行の生活困窮者自立支援法の枠組みで実施するには、自治体の支援計画の策定が必要ですが、生活困窮

者自立支援法には、それがありません。ホームレス自立支援法では、ホームレス対策の方向性や国・自治体の責務をはっきりさせた上で、ホームレス実態の全国調査実施、実行計画の策定をすることになっています。その上で効果を検証して、更にホームレス対策事業を全国的に推進するという仕組みで着実に効果を上げてきました。生活困窮者自立支援法による施策を活用するには、この羅針盤がなければ、進むべき道を見失います。この意味でホームレス自立支援法は、今後にも必要不可欠です。」

——ホームレス自立支援法延長の取り組みはどうなっていますか。

「ホームレス支援全国ネットワークでは、『延長要望署名』を昨年(2016年)10月以降呼びかけています。賛同いただいたのは団体として160団体、議員なども含めた個人が560人くらいになっています。グリーンコープの各生協からも団体署名をいただいています。4月5日には参議院議員会館で延長を求める集会も予定しています。厚生労働省や各政党にも要請をしているところです。」

——この会報の読者である抱樸館を支える会の賛助会員に組み込んで欲しいことがありますか。

「ホームレス自立支援法のことを知ってほしいと思います。ホームレス支援全国ネットワークのホームページに資料がありますので、見ていただきたいです。個人の署名もメールで受けていますので、ぜひよろしく

——ありがとうございました。

NPO抱樸(旧:北九州ホームレス支援機構)が、**第1回賀川豊彦賞**を受賞されました。(2017年1月)

賀川豊彦氏(1888年~1960年)

は、社会の底辺に追いやられていた社会的弱者の救済と人と人が助け合う平和で人間性豊かな社会を実現するために、セツ



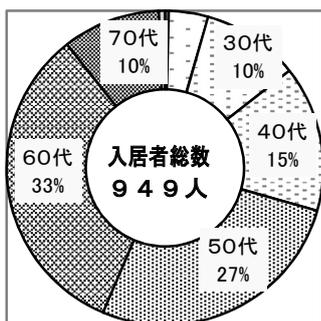
ルメント、保育事業、労働運動、農民運動、協同組合運動、平和運動など、多方面にわたり先駆的な活動を展開し、「協同組合の父」と言われている方です。

賀川豊彦賞は、賀川豊彦氏のこの志を現代に継承・発展させるために、2014年に設立されており、「貧富の格差、人間の疎外、互助精神の希薄化などの社会のひずみの中で、国や地域社会の将来を展望し、先駆的なプロジェクトを立ち上げ、社会活動を展開している団体もしくは個人を顕彰する」ものです。

※同時期に「読売福祉文化賞」も受賞されています。

抱樸館福岡の入居・退居などの状況

開所から2017年2月末までの入居者数



	人数	割合
10代	4	0.4%
20代	39	4.1%
30代	91	9.6%
40代	138	14.5%
50代	256	27.0%
60代	317	33.4%
70代	98	10.3%
80代	6	0.6%
計	949	100.0%

2017年2月末現在の入居者

68人(定員81名) 男性68人、女性0人

2017年1～2月の新入居者数・退居者数

新入居者数18名 退居者数17名

(注: 2月末までの入居者数949人は、
2度・3度入居した人も1人と数えています。)

抱樸館下関・抱樸館北九州の入退居の状況は、特集の際にご案内します。

抱樸館福岡の見学のご案内

- グリーンコープ生協として見学される場合は、所定の用紙でお申込ください。
- 個人もしくは知り合いと一緒に

に見学される場合は、直接抱樸館福岡にご連絡ください。
◇出来れば5名以上でお願いします。(ホームページからも見学の申込が出来ます)

なお、1名あたり1000円の見学料をお願いしています。これには昼食代を含んでいます。昼食は入居者が日ごろ食べている食堂で同じものを食べていただきます。

抱樸館を支える会の概要

抱樸館を支える会の目的

以下の事業・活動を目的としています。

- ◇ホームレス者支援事業
- ◇抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日: 抱樸館福岡が2010年5月に開設されるのにあわせて同年4月10日に設立

正会員: 以下の17団体が正会員です。

- グリーンコープの各単協(14生協)
- グリーンコープ連合
- NPO法人 抱樸(旧:北九州ホームレス支援機構)
- 社会福祉法人グリーンコープ

賛助会員

2017年2月末の賛助会員は、以下の通り

- グリーンコープの共同購入組員 8526名
- グリーンコープの店舗組員・一般の方 171名
- 企業賛助会員 106社

その他(抱樸館の所在地)

- 抱樸館福岡(福岡市東区) 2010年5月開所
- 抱樸館下関(山口県下関市) 2007年4月開所
- 抱樸館北九州(北九州市八幡東区) 2013年9月開所
- 抱樸館熊本: 準備中

抱樸館を支える会 賛助会員と会費について

抱樸館を支える会 賛助会員募集

賛助会員を募集しています。
賛助会員には、会報をお届けします。

グリーンコープの共同購入組員

賛助会員の申込には2つの方法があります。

- 毎月250円の賛助会費を申し込みいただく(年間で3000円です)

毎月の商品代金と一緒に引き落としとなります。

共同購入申込書の「1300」で申し込みください。

- 101000円の賛助会費を申し込みいただく。何口でも申し込み出来ます。

申し込みいただいた月の商品代金と一緒に一括して引き落としとなります。

共同購入申込書の「1299」で申し込みください。

賛助会員は一度申し込みいただくと毎年更新されますので新たに申し込みいただく必要はありません。(グリーンコープの共同購入組員の場合)

- ①の賛助会員は毎月継続して250円請求させていただきます。②の会員は申し込みいただいた月に毎年一括して請求させていただきます。

一般の方、グリーンコープの店舗組員

101000円の賛助会費を何口でも申し込み出来ます。

郵便振替をお願いします。

郵便振替 01710-0-123003

一般社団法人 抱樸館を支える会

企業賛助会員 募集中です

企業賛助会員は、会費が1010,000円です。出来れば30(30,000円)以上でお願いします。申し込みは、下記へ。

「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号

社会福祉法人グリーンコープ

担当 家原 電話 092-482-1964

抱樸館の連絡先

抱樸館福岡 (電話 092-624-7771 FAX 092-624-7772)

〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8

抱樸館北九州 (電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705)

〒805-0027 北九州市八幡東区東鉄町7-1-1

抱樸館下関 (電話 083-223-4544 FAX 電話と兼用)

〒750-0025 山口県下関市竹崎町3-5-25